



地域との繋がりが強いのも
僕にとっては魅力でした

僕が看護師を目指したのは小学生の時の入院経験からです。つらく孤独な入院生活の中で、看護師さんの優しい言葉がとても支えになりました。また心配する母にも優しい言葉をかけてくれ、僕もその家族まで励ますことができるような看護師になりたいと思いました。

看護学科1年生 林 裕晃さん



私の目標を実現するために
最適な大学だと思い選びました

母や祖父母の仕事の影響で、幼い頃から将来は医療に携わる職に就きたいと思っていました。色々調べる中で、様々な形で患者さんや医師の役に立てる臨床検査技師に魅力を感じ、愛媛県立医療技術大学を志望。少人数で学べること、充実した最新の医療機械などが魅力です。

臨床検査学科1年生 吉岡 愛加さん



公立大学法人
愛媛県立医療技術大学

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地
TEL089-958-2111 FAX089-958-2177
<http://www.epu.ac.jp/>



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん



EHIME PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学

保健科学部

看護学科

臨床検査学科

助産学専攻科 大学院保健医療学研究科



羽ばたけ、志ある医療人

大学の**特徴** 本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。松山市の郊外、「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。

将来“医療のリーダー”となる 優秀な人材を育成

- 高度な専門教育はもちろん、社会を生き抜く基礎力の育成に力を入れている



看護学科と臨床検査学科が合同で学ぶ

- 異なる職種の相互理解を深め、医療人としての基礎をつくる
- 臨床検査学科は県内で唯一のコースである



学生一人あたりに対して、教員数が多い

- 学生同士や教員との距離が近く、きめ細やかな指導とサポートを受けることができる



学びに集中できる、住みよい環境

- 静かで、春にはみかんの花の香りに包まれる自然豊かな地域にあり、勉学に集中できる
- 住民に見守られ、治安も良い



高い国家試験合格率と就職率100%

- 毎年全国平均を大きく上回る国家試験合格率を誇る
- 多くの求人があり、就職率は毎年100%



県内で唯一、助産学専攻科がある

- 卒業後の進学先として、1年間コースの充実した助産師教育課程が併設されている



実習先が豊富で、多岐にわたる

- 病院だけでなく、保健所や検査機関、福祉施設など、人々の健康と暮らしに関する多様な場での実習が準備されている



施設が充実し、整備されている

- 何度でも自主練習ができる実習室が整っている
- 図書館には検査、看護に関する専門書が充実しており、外部からの利用も多い



CONTENTS	学長メッセージ	03	卒業生の状況	16
	保健科学部	05	学生支援/授業料	17
	看護学科	06	キャンパスマップ	18
	臨床検査学科	10	キャンパスカレンダー	20
	助産学専攻科	14	入試情報/オープンキャンパス	22
	大学院保健医療学研究科	15	アクセス	23

熱き心を持つ医療人を育てる

学長からのメッセージ

愛媛県立医療技術大学は、医療の分野で社会に役立つことを目指す学生を教育し、看護師、保健師、助産師ならびに臨床検査技師として専門的な学識・技術をもった優秀な人材を社会に送り出すことを目的とする大学です。昭和63年に開学した短期大学の歴史の上に、4年制大学として平成16年4月に設置され、平成22年に法人化、平成24年4月には助産学専攻科(1年制)を発足させ、県内唯一の助産師養成課程をさらに充実させました。さらに平成26年4月からは大学院が設置され、研究面においても活発で充実した大学院大学へと変身しつつあります。

卒業した学生の国家試験合格率は、近年、看護師、助産師、保健師、臨床検査技師の各分野ともほぼ100%近い成績で推移しており、さらに、就職率は毎年100%を達成し

ております。短期大学時代からあわせると、既に3,800名を超える卒業生を送り出し、その多くがそれぞれの分野でリーダーとして活躍しており、高い評価を受けています。

医療の仕事は、社会から大いに期待され、社会に大きく貢献する大切な仕事です。しかし、単に医療の技術を学ぶだけでは立派な医療人になれるわけではありません。医療に対する熱意を身につけてこそ、患者さんに安心を届けることができるのです。このような考えに基づいた、小規模であることを生かした密度の濃い教育が本学の魅力と言えます。我々、教職員一同、学生の皆様の期待に応え、最高の教育を行えるよう努力しております。これから入学される皆さんが、希望に燃えて、この大学の新たな歴史を自分たちで作り上げ、さらに後に続く後輩につないでいくことを期待しています。

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学 学長 橋本 公二





技と思考を鍛える

愛媛県立医療技術大学のキャンパスは、松山市の郊外、「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。社会から求められるのは、プロとしての確かな力です。4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。決してやさしい道ではありませんが、プロとしての厳しさとやりがいにチャレンジするあなたを応援します。

教育理念

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

教育目標

- 実践能力** 高度の専門的知識・技術を駆使し、科学的根拠に基づいた実践能力を有する人材を育みます。
- 豊かな感性** 深い人間理解と高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、豊かな感性により人間の感情・意思及び自己決定権を尊重する人材を育みます。
- 協調・協働** 保健・医療・福祉・教育など他の専門職の役割を理解し、柔軟に協調・協働しうる人材を育みます。
- 柔軟な思考** 医学・医療技術の進歩発展や、保健医療に対する社会の変化・多様化に伴う要請に柔軟に対応しうる人材を育みます。
- 自己教育力** 職業人として自らの行動に責任を持ち、かつ継続的な学習により能力を高める人材を育みます。

沿革

昭和62年12月	愛媛県立医療技術短期大学認可
昭和63年 4月	愛媛県立医療技術短期大学開学
平成 3年 4月	愛媛県立医療技術短期大学に専攻科開設
平成19年 3月	愛媛県立医療技術短期大学閉学
平成15年11月	愛媛県立医療技術大学設置認可
平成16年 4月	愛媛県立医療技術大学開学
平成22年 4月	公立大学法人に移行
平成24年 4月	愛媛県立医療技術大学に助産学専攻科開設
平成25年12月	愛媛県立医療技術大学大学院設置認可
平成26年 4月	愛媛県立医療技術大学大学院開設

砥部の里で共に学び医療職の一員へ

本学は人々が健康に生きることを支援する看護職と正確な診断・判定に寄与する検査技師を育成する医療系大学です。将来の医療職という共通基盤のもと、小規模校であることを強みに、学科を超えて学生同士が切磋琢磨し合います。医療職の一員となるための学修は簡単ではありませんが、教育環境を整え、教職員の丁寧な指導と支援、ならびに地域の病院や関連施設等の方々のご理解とご協力を得て、信頼される医療人となるよう“思考と技”“人間力”を鍛えていきます。卒業後の進路先には、1年課程の助産学専攻科、大学院も設置され、さらなるキャリアアップの道も拓かれています。この砥部の里で共に学び、医療職の一員に加わってくださることを願っています。



学部長 中西 純子

保健科学部

看護と臨床検査の2学科からなり、学生と一緒に学ぶことでチーム医療への理解も深まります。

カリキュラムの特色

深い人間理解や地域理解のもと、保健医療の質の向上に貢献できる専門知識・技術を修得し、実践能力と学究的姿勢が身につくようにカリキュラムを構成しています。

人間理解および倫理観の醸成

広く人間を理解し、生命の尊厳や倫理観を養うために必要な教養教育の充実を図り、目的意識をもって学ぶことができるよう選択科目を多く設けています。

地域住民の生活理解と健康増進への寄与

社会のしくみや環境との関わりの中で人々の健康を考えることができるよう各種制度論や公衆衛生学を両学科の学生と一緒に学び、人々の健康を手助けする担い手としての力を身につけます。

コミュニケーション能力の養成

基本的な日本語の文章表現や語学、コミュニケーション論などを学ぶとともに、カウンセリングや面接技法の学習によって自分の意思や感情を表現する方法を身につけます。

実践に活用できる専門的知識・技術の修得

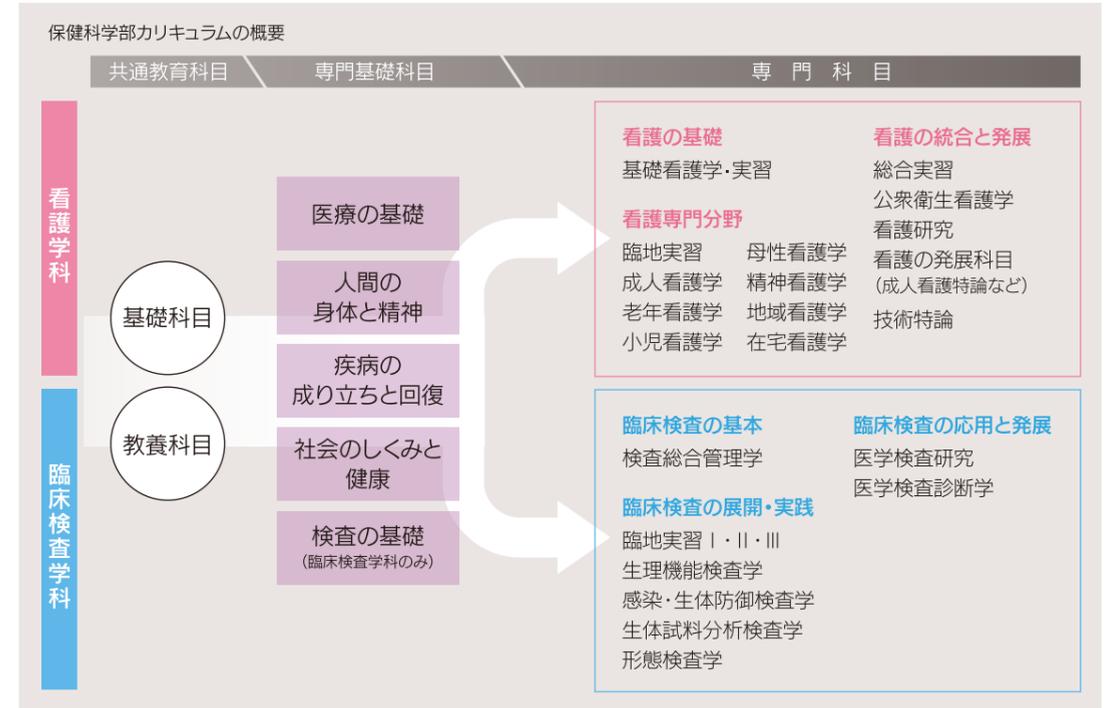
臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合し課題を解決する力を身につけます。技術は、卒業時到達度を明確にして全員達成できるよう繰り返し学習します。

チーム医療の実践力の強化

2学科で構成される大学の特色を生かし、両学科一緒に学ぶ科目を配しています。4年次には、チーム医療の重要性を認識し、他職種役割を理解して共に働くことができる力を身につけます。

課題探究能力の養成

1年次から、少人数形式のゼミ等によって大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用法を段階的に身につけます。4年次には統合・発展科目群を学習し、課題解決能力や研究的な視点を養います。



アドミッションポリシー

本学の設置理念や教育目的に賛同し、地域の保健医療に貢献しようとする人材を受け入れます。受入れにあたっては、入学志願者の能力および適性等を多面的に判定し、多様な選抜試験を公正かつ妥当な方法で実施します。求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療に関心を持ち、地域社会に貢献する意欲がある人
- 自己の人間性を育み、他者を尊重する態度を有している人
- 物事を論理的・多面的に捉え、自分の考えを表現できる人
- 保健医療を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人

自己教育力を高める看護の道

看護は人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、ご本人やご家族のもてる力を引き出していく仕事です。このことは昔も今も不変である一方、時代や医療の革新とともにより高い実践力が求められ、看護の役割や働く場も拡大してきました。決して簡単な道程ではありませんが、自分自身を育てるのはあなたです。仲間とともに歩みましょう！



看護学科長 野村 美千江

検査でチーム医療に貢献する

医療の高度化・複雑化に伴い、医療現場では多職種の医療スタッフが連携して医療を行っています。このような中、診断・治療において臨床検査技師が果たすべき役割も一層重要なものとなっています。本学科では必要な知識と技術を修得し、状況に応じて適切な判断や解決能力を身につけることが出来る特色あるカリキュラムで、教育に熱意のある経験豊富な教員が皆さんの学びの援助をします。



臨床検査学科長 佐田 榮司

看護学科

4年制

定員75名



◀ 学科の詳細情報はこちら

Department of Nursing

取得可能な資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

公衆衛生看護学選択者のみ取得可能 希望者の中から30名以内を選考します。

養護教諭2種免許申請資格

一般授業科目を放送大学にて受講する必要がある場合があります。

衛生管理者免許申請資格

※養護教諭2種免許申請資格及び衛生管理者免許申請資格は保健師免許取得者が申請可能です。

看護師国家試験

合格率

97.3%

(新卒者全国平均 94.7%)

保健師国家試験

合格率

94.4%

(新卒者全国平均 88.1%)

Educational goal | 教育目標

- 高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、自己決定権を尊重する看護ができる人材の育成
- 科学的根拠に基づいた看護が実践できる人材の育成
- 他職種と連携・協働しながら看護職としての役割を果たせる人材の育成
- 看護職として責任ある行動がとれ、主体的な継続学習により自己研鑽に努める人材の育成
- 保健医療福祉の変化を捉え、看護の発展・向上に寄与できる人材の育成

Point | 学びのポイント

看護師教育の充実を図り、キャリア発達を促すことのできる、より看護実践能力を高める教育内容となっております。



基礎教育講座

医療従事者として豊かな人間性と幅広い教養を身につけることを目的に学生教育を行っています。

基礎看護学講座

「看護とは何か」を主題に看護の対象理解、看護者としてのものの見方・考え方や、看護の実践に不可欠な看護技術を習得します。

母性・小児看護学講座

妊娠・出産・子育てを中心とした女性の健康への支援と、子どもの成長・発達、病気の子どもと家族への支援などの看護を探究します。

成人・老年看護学講座

成人看護学(急性期、慢性期、リハビリテーション期)と老年看護学において様々な健康レベルにある人への看護を探究しています。

地域・精神看護学講座

地域社会で生活している人々が、自分たちの意思と力で健康的な生活が出来るための支援について追求する講座です。

主な実習施設

愛媛県立中央病院ほか松山市・伊予市・東温市の医療機関
 伊予市の介護老人保健施設
 松山市・伊予市・砥部町の訪問看護ステーション
 愛媛県内の保健所及び市町
 砥部町の保育所



看護学科生の学び 知識はもちろん、それ以上に人と接することが大切。自分自身の成長もここからスタート。

1年次



看護学科1年生
大下 未夢さん

学びをサポートしてくれる恵まれた環境に感謝

1年生の授業では、看護師になるための基礎知識はもちろんですが、社会人として必要な一般教養も学びます。初めて行った病院実習で、実際に患者さんとコミュニケーションをとった時、緊張していた私に笑顔で接してくださり、私の方が元気づけられました。これから専門的な知識を身につけ、患者さんに寄り添えるようになりたいと改めて感じています。先生方との距離が近いのも心強いです。



Time schedule



田中さんの1日

6:00 起床	14:40 4限 基礎看護方法論Ⅱ
7:30 自宅出発	16:10 空きコマを利用して看護演習の練習
8:50 1限 基礎ゼミ	18:30 サークル活動
10:30 2限 統計学	20:30 サークル終了
12:00 友達と学食	22:00 自宅帰宅・入浴・課題
13:00 空きコマを利用して看護演習の練習	24:00 就寝

看護学科1年生 田中 里沙さん



勉強のほかにもいろんなことにチャレンジ

1年生は専門的な講義は少なく、大学生としての基礎を学びます。前期は学科や学年の壁を越えて様々な人と関わる機会が設けられているため、サークルや講義などを通して人間関係を広く築くことができました。後期になると専門的な学習も増えますが、友達と計画を立てながら勉強・バイト・サークル活動・旅行といったように充実した生活を送っています。

2年次



看護学科2年生
河野 安友加さん

自分のやりたいことに打ち込める充実した毎日

2年生の授業では、1年生の時より専門的な看護を学びます。演習でも注射などさらに実践的な学習をします。そして、夏には学んだことを初めて実習の場で発揮します。もちろん初めての実習は緊張しますが、今までに学んだことを生かしたり、実際に患者さんと触れ合ったりするのはとても良い経験でした。また、これからどんな看護職になりたいか、実習を通して看護への志が高まりました。



Time schedule



日野さんの1日

9:00 起床・身支度	14:40 4・5限 基礎看護技術方法論Ⅲ 演習
10:00 自宅出発	18:20 学校から帰宅・バイトの準備をする
10:30 2限 家族看護論	19:00 バイト
12:00 昼食 友達とおしゃべりしながらお弁当を食べる	22:30 バイトから帰宅・夕食・入浴
13:00 3限 障害発達心理学	2:00 就寝準備・就寝

看護学科2年生 日野 美羽さん



目指せ！大学とバイトの両立

2年生になって、専門分野の講義が増え、よりレベルの高い学習が始まりました。医療・看護の専門的な学習は難しい内容も多いですが、仲間とグループワークや演習を通して学びを深めることができています。また、講義数や課題も多くなるため、大学とバイトの両立は大変ですが、仲間と支え合い、励まし合いながら楽しい大学生活を送ることができています。多忙ながらも充実した毎日を過ごしていると日々実感しています。

3年次



看護学科3年生
十川 穂香さん

領域別実習で看護師としてのイメージを具体的に

3年後期には約半年に及ぶ領域別での実習があります。今まで身につけた知識や技術を実践出来る機会が増え、より多くの学びを得ることが出来ます。また、患者や家族と関わる時間が増えることで、看護の対象には患者だけでなく家族も含まれるということを知ることが出来ます。様々な領域での看護の特徴を掴み、魅力を知ること、将来看護師として働くイメージが具体的なものになると思います。



Time schedule



笠松さんの1日

6:30 起床・身支度	17:00 実習記録記入
7:00 自宅出発	19:00 夕食、家族と団らん
8:00 病院での実習開始	20:00 実習記録記入、実習のための学習
12:00 休憩、昼食	21:00 入浴
13:00 病院実習再開	21:30 実習記録記入、実習のための学習 明日の準備
16:30 帰宅	24:00 就寝

看護学科3年生 笠松 奈央さん



頑張りの源、体力にも気配り

実習中は朝が早く帰宅後は多くの記録と学習で、睡眠時間が少なくなりがちですが、実習は体力が必要なので、しっかり睡眠を取れるように時間を決め集中して取り組むように心がけています。大変だと感じることもありますが、1・2年生での学びを実践に活かし患者さんの笑顔を見られることで、日々自分の成長を実感し充実した日々を過ごしています。たまに土日に友達と遊ぶことでリフレッシュしています。

4年次



看護学科4年生
小玉 将慶さん

密度の濃い1年間で自分自身の成長も実感

4年生では総合実習や看護研究、就職活動や国家試験など、大きなイベントが控えています。不安はありましたが、先生方の支えや仲間との協力、今までの実習や講義から得た知識や経験を最大限活用し、一つ一つ乗り越えていくことで自身の成長に繋がったと思います。公衆衛生看護選択者として本格的に講義も始まり、多くの達成感と充実感の得られる大学生活を送ることができました。



Time schedule



松本さんの1日

8:00 起床、朝食、身支度	18:00 アルバイト
9:00 担当の先生と看護研究についてのミーティング	22:00 帰宅、入浴、家事
10:00 看護研究(分析、本文添削など)	24:00 就寝
12:00 昼食 友だちと学食のAランチを食べる	
13:00 図書館で学習	

看護学科4年生 松本 萌さん



残り少ない学生生活を大切に

4年生になると、看護研究が始まります。初めての研究はわからないことだらけで難しく感じることも多いですが、担当の先生方の手厚いご指導のもと、自分たちで選んだ研究テーマが少しずつ形になっていることを実感しています。また、2月に控えた国家試験に向けての勉強にも力が入ってくる時期です。将来自分が働いている姿をイメージしたり、友人と息抜きをしながらモチベーションを高めています。

臨床検査学科

4年制

定員25名



◀ 学科の詳細情報はこちら

Department of Medical Technology

取得可能な資格

臨床検査技師国家試験受験資格

甲種危険物取扱者試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

※食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格は
必要な選択科目を習得する必要があります。

臨床検査技師国家試験

合格率

88.0%

(新卒者全国平均 86.5%)



Educational goal | 教育目標

- 医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の人権や意思を尊重することができる人材の育成
- 検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与することができる人材の育成
- 他職種と連携・協働しながら、医学検査領域の専門家としての役割を果たせる人材の育成
- 先端医療に対応できる高度な検査技術を身につけた人材の育成
- 医学検査とそれに関連した幅広い分野の発展・向上に寄与できる学究的態度を身につけた人材の育成

Point | 学びのポイント

医療従事者として高い倫理観を持ち、チーム医療の一翼を担うために必要な専門知識、技術を習得できるカリキュラム編成としています。

生体情報学講座

生体を構成する臓器や組織、細胞の形態を観察し、正常と異常の相違点、異常と疾患の関係を理解するために形態解析の検査技術および理論を基礎から学びます。また、血液や尿に含まれる様々な成分を化学的分析法、遺伝子検査法を用いて測定し、病気の診断、治療、予後、治療の適否や健康状態を的確に把握するためのデータを得る方法について学びます。

基礎検査学講座

感染・生体防御検査学では、感染症を起こす病原微生物の検出方法や感染症の治療に用いる薬剤について、また病原体や癌から我々の体を守るために様々な免疫担当細胞や多くの反応因子により構築されている生体防御反応や自己免疫性疾患のような免疫システムの破綻でおこる疾患について学びます。生理機能検査学では、病気や診断や治療に必要な情報を得るために、ヒトの体に直接機器をあて行う検査手技やデータ解析方法について、また用いる機器の構造・原理などについても学びます。



主な実習施設

臨地実習Ⅰ

- 愛媛生協病院
- 道後温泉病院
- 済生会松山病院
- NTT西日本松山病院
- 貞本病院
- 国立病院機構愛媛医療センター
- 鷹の子病院

臨地実習Ⅱ

- 愛媛県中予保健所
- 愛媛県衛生環境研究所
- 愛媛県総合保健協会
- 愛媛県厚生連健診センター

臨地実習Ⅲ

- 愛媛県立中央病院
- 愛媛大学医学部附属病院
- 国立病院機構四国がんセンター
- 松山赤十字病院

臨床検査学科生の学び 医療の現場でどう役割を背負っていくか。目標を持って一步一步近づいていくことが喜び。

1年次



臨床検査学科1年生
大峯 美瀬さん

4年間の基礎づくりで知った、学びの楽しさ

1年生の授業は大学4年間の学びの基盤となります。前期は基礎科目を学び、後期は専門的なものが増え、前期で習ったことを生かした学内実習も始まります。高校とは違い、一定の分野を深く学ぶことが多いため、ついていけないと思うこともありましたが、先輩方も優しく、アドバイスもくださるので、詳しく学ぶことの楽しさや面白さを実感することができました。



Time schedule



縦の繋がりや友達との時間を大切に。

1年生では両学科が合同で行う講義が多く、医療従事者となる上での基礎を学んでいきます。最初はわからないことが多く戸惑いましたが、小規模な大学ならではの繋がりや、先輩から沢山のアドバイスを貰いました。また、試験やレポートは友達と励まし合いながら乗り越えてきたため、同じ目標に進む友達の大切さを実感しています。学科・学年の域を超えて交流できるサークル活動は、とても楽しい時間になっています。

臨床検査学科1年生 兵頭 絢女さん

兵頭さんの1日

7:45 起床・身支度	17:50 情報教室でレポート
8:35 自宅を出る	19:00 帰宅・夕食
8:50 1限 人体の構造・機能Ⅲ	20:00 アルバイト先に出勤
10:30 2限 心理学	23:30 帰宅・入浴
12:00 友達と話しながらお弁当を食べる	24:00 学習・翌日の準備
13:00 3・4・5限 人体の構造・機能実習	0:30 就寝



2年次



臨床検査学科2年生
本宮 健太郎さん

初めて現場に出て見えてきた課題や目標

2年次では専門科目が増え、座学が中心となります。一方で学内実習もあり、レポートやテストで忙しい毎日です。しかし、友人と励まし合い、協力し合いながら乗り越えています。春に行われる初めての臨地実習では、2年間で培ってきた知識を基盤に、様々な事を学ぶことができます。また、実際に現場で働く検査技師の仕事の様子や病院の雰囲気を知ることができ、モチベーションにも繋がります。



Time schedule



勉強・運動・家事とやることはいっぱい

まずは起床し学校へ。1限の授業が8:50からなので朝はゆっくりです。昼休みには食堂で数少ない男子が集まってご飯を食べます。AランチやBランチではご飯のおかわり自由なのが食べ盛りの男子には嬉しいところです。午後の授業が終わるとニンジオアスタジামのトレーニング室に行って体を動かして帰宅です。帰宅すると夕食、洗濯、入浴などを済ませて残りの時間を自由に過ごして就寝というのが1日の流れです。

臨床検査学科2年生 児玉 桐梧さん

児玉さんの1日

7:00 起床	13:00~16:10 授業
8:10 通学	16:40~18:10 筋トレ
8:40 学校到着	19:00 帰宅
8:50~12:00 授業	24:00 就寝
12:00~13:00 昼休み	



3年次



臨床検査学科3年生
福山 あきのさん

多くの学内実習を終え、実りある1年に

臨床検査学科の3年生は、学内で様々な専門科目の実習を行います。中でも血液学検査や生理機能検査の実習では、クラスメイトを患者として検体を採取したり身体に触れたりするため、いかに患者に負担をかけないかを考える訓練になると思います。講義では想像しきれなかったことも、実際に自分たちで考え行動することで、1・2年生で学んだ知識が定着し、理解が深まりました。



Time schedule



専門的な実習は効率的な復習に

3年生になり実習が増え、より専門的な学習となります。実習の内容は1、2年生の時に学んだことを中心に行われるため、効率的に復習を行うことができ、実際に各検査を体験することでより深い理解へとつながります。3年後期は学内での実習が毎日あるため大変ですが、友達と互いに支え合いながら勉強に励んでいます。また、サークル活動では、学年の枠を超えて交流することができ、楽しい時間を過ごしています。

臨床検査学科3年生 上田 勇矢さん

上田さんの1日

8:00 起床・身支度	16:30 レポート作成
8:50 自宅出発	19:00 サークル活動
9:00 図書館で危険物取扱者試験の勉強	21:00 サークル活動後みんなで食事
10:30 2限 医学検査セミナー	22:00 帰宅・入浴・家事
12:00 友達と学食を食べる	23:00 課題・復習・予習
13:00 輸血移植検査学実習	1:00 就寝



4年次



臨床検査学科4年生
田野 ゆづきさん

4年次は将来に直結する充実した1年間

4年次には、大病院での2カ月間の臨地実習、卒業研究、就職活動そして国家試験があり、ハードな1年間でした。3年次までは講義や学内実習がほとんどでしたが、4年次では研究や就職活動など自分で考え主体的に行動することが多かったように思います。特に就職活動を行ううえでは、自分がどんな臨床検査技師になりたいのか、何をしたいのかを見つめ直すいい機会になりました。



Time schedule



忙しい日々の中に新しい発見

4年生では、臨地実習、発表会、卒業研究、就職活動、国家試験と様々な行事をこなすこととなります。忙しい日々を過ごしていますが、毎日新しい発見をしたり、専門知識を身につけたりと充実した生活を送ることができ、自身の成長を大いに感じ取ることができています。国家試験対策では、分からないところを先生に教えて頂いたり、友達と共に勉強し知識を共有したりと学部・学科全員で合格に向けて力を注いでいます。

臨床検査学科4年生 林 あかねさん

林さんの1日

6:00 起床・身支度	18:00 帰宅・夕食準備
7:10 自宅を出て実習先の病院に向かう	19:00 夕食・家事
8:00 臨地実習(午前)開始	20:00 復習・予習
12:00 実習先に昼食	22:00 入浴
13:00 臨地実習(午後)開始	23:00 就寝
17:15 臨地実習終了・帰宅準備	



助産学専攻科

Graduate Program in Midwifery

1年制
定員15名

学科の詳細情報は
こちら▶



カリキュラム

一歩ずつステップアップしていけるよう、段階的に講義・実習をすすめていきます。
1年間をかけて、母子の成長とともに助産学生としての成長を実感できるスケジュールとなっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式												
講義			集中実習	講義	夏期休暇	講義		集中実習	講義・実習	冬期休暇	講義・実習	
助産学実践領域(基礎編)				助産学実践領域(発展編)			助産学実践領域(応用編)		助産学実践領域(統合編)			助産学実践領域(統合編)
助産学基礎領域			助産学実習Ⅰ(病院実習)	助産学実習Ⅱ(病院実習)		助産学実習Ⅲ(助産所実習)	助産学実習Ⅳ(健康教育)		助産学実習Ⅲ(助産所実習)			助産学実習Ⅳ(健康教育)
継続事例実習		助産学実習Ⅱ	病院継続事例受持ち		助産学実習Ⅲ	助産所継続事例受持ち(選択学生)						助産学実習Ⅳ
教室開催												お産・母乳クラス開催
												事例報告論文発表会 お出かけ実習発表
												修了式

実習

女性と家族を支援するのに必要な知識を学びます。



トラウベによる胎児心拍聴取

沐浴

新生児蘇生

取得可能な資格

受胎調節実地指導員
助産師国家試験受験資格

助産師国家試験

合格率

100%
(新卒者全国平均 99.9%)

主な実習施設

愛媛県立中央病院
松山赤十字病院
四国中央病院
NTT 西日本 松山病院
まつやま助産院

教育理念

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

教育目標

高度な実践能力を獲得し、あらゆるライフステージにある女性と家族を支援することのできる専門性の高い、自立した助産師を育成します。

※助産学専攻科に入学するためには、大学卒業等の資格を有し、かつ看護師免許を有するかまたは看護師国家試験受験資格を有することが必要です。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

生命誕生に強い関心をもち、主体的に助産学を学習できる人

地域の母子保健に貢献する意志をもつ人

豊かな感性と倫理観をもち、柔軟な発想をもってものごとに立ち向かえる人

大学院 保健医療学研究科

定員

看護学専攻 5名
医療技術科学専攻 3名

学科の詳細情報はこちら▶



教育理念

保健医療学研究科は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な判断能力・指導力・教育力を有する高度専門職業人を育成します。

教育目標

本研究科は、保健医療福祉分野における社会的な諸課題を具体的に解決することにより健康でこころ豊かに生活できる地域社会の実現に貢献し得る高度専門職業人を育成することを基本目標とし、修士課程において次のような能力を有する人材を育成します。

- 保健医療機関、地域、行政、教育などの現場において、リーダーまたは管理者として中心的な役割を果たし、活躍できる人材を育成します。
- 実践の現場で展開されている諸現象について科学的に検証しエビデンスを明確にするとともに、学術研究を通してそれらをさらに深化・発展させ、その成果を実践に適用することのできる人材を育成します。
- 地域社会で生じている保健医療福祉の諸課題について、その内容を学問的・体系的に俯瞰するとともに、背景にある原因や要因、解決策について検討し、関係者や社会への発信、諸制度や地域システム改善の提言、関係職種との協働活動を展開できる人材を育成します。

看護学専攻の教育目標

看護に関する学習や経験を振り返り意味づけする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力、論理的に思考し人々に説明できる力を身につけ、高度専門職業人として実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を發揮できる人材を育成します。

医療技術科学専攻の教育目標

臨床検査の学習や経験を基盤に、臨床検査を中心とする医療技術科学において、高度の知識を活用した医療技術の開発・改良を行う力、卓越した検査技術を駆使する力を身につけ、高度専門職業人として実践の場におけるリーダー・管理者・教育者の役割を發揮できる人材を育成します。

卒業生の状況 就職率100%!それぞれの職場で生き生きと働く卒業生たちからのメッセージです。

国家試験合格率 95.3%

2018年度卒業生の国家試験合格状況 ※新卒者のみ

学科・専攻科	国家試験	受験者数 (名)	合格者数 (名)	合格率 (%)	全国合格率 (%)
看護学科	看護師	75	73	97.3	94.7
	保健師	36	34	94.4	88.1
助産学専攻科	助産師	14	14	100	99.9
臨床検査学科	臨床検査技師	25	22	88.0	86.5
合計		150	143	95.3	-

就職率(就職希望者) 100%

卒業111名 就職98名+進学9名+継続勤務4名

就職状況 (2018年度)

看護学科

県内

愛媛県立病院	愛媛県内	大阪赤十字病院	大阪府
愛媛大学医学部附属病院	東温市	順天堂大学医学部附属病院浦安病院	千葉県
松山赤十字病院	松山市	広島市立病院機構	広島県
愛媛県・保健師	松山市	大阪市立総合医療センター	大阪府
松山市・保健師	松山市	北里大学病院	神奈川県
今治市・保健師	今治市	兵庫医科大学病院	兵庫県
宇和島市・保健師	宇和島市	埼玉石心会病院	埼玉県
宇和島市・保健師	宇和島市	日本赤十字社 和歌山医療センター	和歌山県
八幡浜市・保健師	八幡浜市	大阪府済生会吹田病院	大阪府
四国がんセンター	松山市	神戸大学医学部附属病院	兵庫県
松山ペテル病院	松山市	慶応義塾大学病院	東京都

県外

山口大学医学部附属病院	山口県	杏林大学医学部附属病院	東京都
日本医科大学付属病院	東京都	医療法人社団更生会 草津病院	広島県
京都大学医学部附属病院	京都府	香川大学医学部附属病院	香川県
近畿大学医学部附属病院	大阪府	日本赤十字社 神戸赤十字病院	兵庫県
国立がん研究センター東病院	千葉県	倉敷中央病院	岡山県
東京医科大学病院	東京都	大阪医科大学附属病院	大阪府
公益財団法人がん研究会 有明病院	東京都	千葉県	千葉県
呉医療センター中国がんセンター	広島県	高知県	高知県
東邦大学医療センター大森病院	東京都	東広島市役所・保健師	広島県
JA尾道総合病院	広島県	江津市役所・保健師	広島県

臨床検査学科

県内

愛媛大学医学部附属病院	東温市	愛媛県立病院	愛媛県内
松山赤十字病院	松山市	愛媛大学医学部附属病院	東温市
松山市民病院	松山市	松山赤十字病院	松山市
医療法人 住友別子病院	新居浜市	つばきワイメンズクリニック	松山市
松山記念病院	松山市		
愛媛県総合保健協会	松山市		
よつば循環器科クリニック	松山市		
おおぞら病院	松山市		
北条病院	松山市		
矢野産婦人科	松山市		

県外

香川県庁	香川県	関西医科大学附属病院	大阪府
岡山市立市民病院	岡山県	兵庫県立淡路医療センター	兵庫県
PL病院	大阪府	国立成育医療研究センター	東京都
済生会東南海療福祉センター	大阪府	高知大学医学部付属病院	高知県
JOHO 大阪病院	大阪府	大阪はびきの医療センター	大阪府
舞鶴赤十字病院	京都府	JA香川厚生連 屋島総合病院	香川県
岐阜県総合医療センター	岐阜県	東大阪医療センター	大阪府
板橋中央総合病院	東京都		
中部徳洲会病院	沖縄県		
(株) 医療システム研究所	東京都		
(株) 九州オープンラボトリーズ	福岡県		

助産学専攻科

県内

愛媛県立病院	東温市	愛媛県立病院	愛媛県内
愛媛大学医学部附属病院	松山市	愛媛大学医学部附属病院	東温市
松山赤十字病院	松山市	松山赤十字病院	松山市
つばきワイメンズクリニック	新居浜市		
	松山市		

県外

関西医科大学附属病院	大阪府	大阪府	大阪府
兵庫県立淡路医療センター	兵庫県	高知県	高知県
国立成育医療研究センター	東京都	大阪府	大阪府
高知大学医学部付属病院	高知県	香川県	香川県
大阪はびきの医療センター	大阪府	岡山県	岡山県
JA香川厚生連 屋島総合病院	香川県	石川県	石川県
東大阪医療センター	大阪府	京都府	京都府

進学(看護学科)

県内

愛媛県立医療技術大学助産学専攻科	愛媛県
------------------	-----

県外

岡山大学看護教諭特別科	岡山県
石川県立看護大学大学院	石川県
京都府医師会看護専門学校	京都府

卒業生からのメッセージ

看護師
愛媛県立中央病院 勤務

平成26年度
看護学科卒業

牛山 愛友さん

私の理想を示してくれる「看護師を目指した理由」

現在、がん治療センターで勤務しており、患者さんと同じ目線に関わり、家族も大切な存在として捉え、それぞれの思いに合わせた看護を提供できるように奮闘しています。今の看護に対する思いは実習や家族の経験が原点にあり、患者さんへの看護に迷った時は初心を忘れない様に心がけています。

保健師
西条市中央保健センター勤務

平成27年度
看護学科卒業

三瀬 愛美さん

保健師として学んだことは会って話すことの大切さ

保健師として、主に健診業務、担当地区の相談、訪問などを行っています。仕事を通して顔の見える関係で市民と向き合う大切さを学びました。表情や生活の様子から気づくことがたくさんあります。そんな中で市民や職場の方々と一緒に考え、解決につながったときはやりがいを感じます。

臨床検査技師
愛媛県立今治病院 検査部勤務

平成27年度
臨床検査学科卒業

亀岡 千映子さん

30年後の自分を想像しながら学生生活を楽しんで

現在の職場では輸血検査や心臓超音波検査などに携わっています。いくつになっても学ばなければならないことは多く、信頼される検査室を目指し、そして目標を持ち頑張っている姿を子供たちに示せればと思っています。さまざまなことに興味を持ち、楽しみながら大学生活を過ごしてください。

助産師
淀川キリスト教病院 勤務

平成29年度
助産学専攻科卒業

高田 華奈さん

とてもやりがいのある助産師として働く

病棟では、「お母さんと赤ちゃんに優しいケア」をモットーに、妊娠から出産後までのケアや出産のお手伝いをさせてもらっています。悩むこともありますが、出産に立ちあった後にお母さんや家族の方々が喜んでる姿を見ると関わらせていただけて良かったなと感じます。

助教
愛媛県立医療技術大学勤務

平成29年度
大学院 看護学専攻 修了

長尾 奈美さん

看護が大好きな仲間と共に学び・育ち合う

大学院では、研究を通して“看護”と向き合うことで物事を俯瞰して考える力を身に着けました。仕事や家庭との両立は大変な面も多々ありましたが、年齢も職種も様々な“看護が大好き”な先輩方と共に切磋琢磨し合える環境に身を置かせていただけたことに大変感謝しています。

学生支援 / 授業料 学びを続けるために必要な支援も充実。目標の実現に向けて、多様なニーズに応えます。

学習支援

学生相談システム

学生生活で生じる様々な問題や悩みの解決を手助けするため、学生相談室を設置しています。学内相談員が相談にあたるほか外部カウンセラー(臨床心理士)による相談も行っています。その他各教員がオフィスアワーを設定し、どの教員でも相談に応じています。

クラス顧問システム

各学科学年に応じて必要数の教員が、大学生活に関する学生からの相談窓口を担当しています。学年進行に応じて必要なガイダンスや連絡などを行い、大学生活がスムーズに送れるように支援します。

国家試験受験への支援

各種国家資格の取得は大学生活最後の関門です。学生の自主性をもとに教職員が支援しています。学生を中心とした国家試験対策委員会を設置し、ガイダンス、模擬試験情報、手続き支援、補習講義などを企画。また、模擬試験の結果をもとに担当教員が個別指導を行います。

就職への支援

学生委員やクラス顧問を中心に、3年生を対象にガイダンスや進路セミナーを開催するほか、必要に応じて各種専門領域の教員による個別指導を行っています。また、学生ホールやホームページに就職情報コーナーを設置し、いつでも閲覧できるようにするなど、全学的に支援しています。

多様なニーズに対応した学生支援

本学は、「医療専門職になりたい、さらなる資格を取りたい」という学生の皆さんの夢の実現に向けて、入学から卒業までの学生生活が安全で、快適なものとなるよう、様々な側面からの支援を提供しています。卒業後も就職や転職などの相談をいつでも受け付けています。また在職中の学生が多い大学院生にも、職業生活と学生生活を両立するための相談に応じるなど、多様なニーズに対応した学生支援体制を整えています。

学生部長
野本 百合子

生活支援

ハラスメント対策

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメントへの対策は大学全体で取り組んでおり、被害が生じないような体制を整えています。

- 学生が訴えやすいような窓口の設置(学生相談システム参照)
- 全教職員がハラスメント研修、講習を受講

防犯安全対策

本学では、新たな学生生活が、安心・安全なものとなるよう、また、学生自身が被害者にも加害者にもならないよう、様々な取り組みをしています。

- 犯罪被害の防止: 犯罪被害防止教室の開催、犯罪情報の周知徹底
- 交通安全指導: 交通安全講習会の開催(講話・実技)

経済支援

減免制度

経済的な理由により、授業料等(入学選考料、入学料及び授業料)を納付することが困難と認められる場合、授業料等の減免、納付猶予及び分納の制度を設けています。

奨学金制度

奨学金は、成績が良好かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、学業の継続を援助するための資金を貸し付ける制度です。学内掲示板で随時お知らせするとともに、例年4月に奨学金説明会を開催しています。

●詳しくは <http://www.jasso.go.jp> 日本学生支援機構ホームページ

授業料・諸費用 平成30年度実績 ※金額は改定される場合があります。

区分	保健科学部	助産学専攻科	大学院
入学選考料	17,000円	17,000円	30,000円
入学料	県内居住者*	282,000円	169,200円
	県外居住者	423,000円	253,800円
授業料	535,800円	535,800円	535,800円

備考 ※次のいずれかに該当する者
①入学者本人が、平成31年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者
②入学者本人の配偶者又は1親等の親族が、平成31年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者
授業料は、前期(4月)後期(10月)に半額ずつ納付

Campus Map

キャンパス
マップ

自然に恵まれたキャンパスで、
のびのびと充実した学生生活がおくれるよう
施設・設備を備えています。



食堂

食堂横には、昼食時に利用できる
スペースを設けています。



体育館

スポーツの授業で利用するほか
サークル活動でも利用できます。



大講義室

看護学科、臨床検査学科の学生が
合同で受講することができます。



臨床化学実験室

疾患の診断に有用なデータを得る
ため、生体中の物質の分析・測定
方法を学びます。

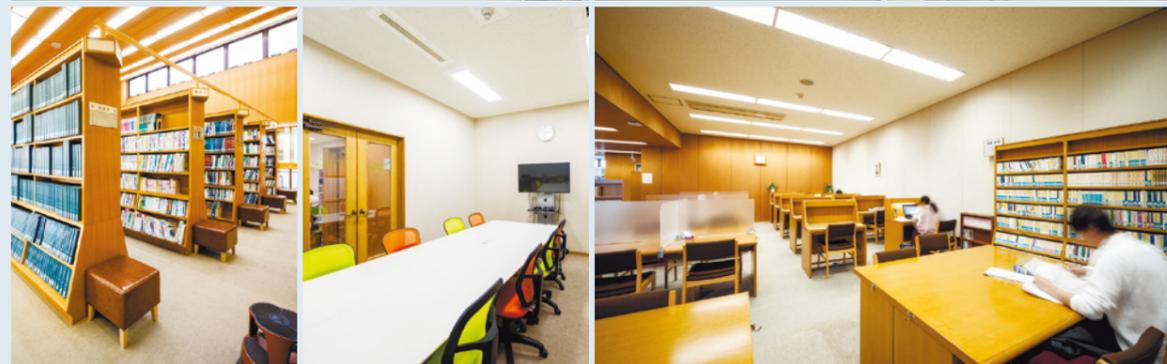


基礎看護学実習室

ベッドメイキングや血圧測定、採
血など基礎的な看護技術を学
びます。

図書館

県内唯一の専門資料が揃った知識と情報の宝庫。また個室学習スペースやラーニングcommonsも充実しており、学生にとっては恵まれた環境が整っています。愛媛県内の他大学や一般の方々、研究者の方々にも学びの場として活用されています。



図書館長
草薙 康城

大学だけでなく地域からも愛される図書館として

図書館は、学生や教員の教育や研究活動を支援するための図書、雑誌、学術情報データベースおよび電子ジャーナルをそろえています。看護学・臨床検査学・医療に関する資料は県内唯一であり、本学学生・教職員だけでなく愛媛県内の他大学の学生、看護師、臨床検査技師の人たちや一般の人たちも医療の情報を収集するために利用しています。平日は午前9時から午後9時まで、土曜日も午前9時から午後5時まで開館しており、館内の学習スペースやラーニング・commonsは、学生や教員の勉強や研究活動のために活用されています。



階段講義室

150インチのプロジェクターを
備えた183名収容の階段教室。
大人数で受講する授業やAV機器
を使う授業に使用します。



情報科学演習室

最新のパソコンを52台設置し
て、インターネットに常時接続。
学生全員にe-mailアドレスが与
えられます。



中庭

豊かな緑に囲まれ、学生の憩いの
場となっています。



学生ホール

自動販売機、銀行のキャシュ
コーナー、求人案内のコーナーが
あります。団らん、情報交換の場
に利用しています。



成人看護学実習室

成人期にある人の治療・検査に
伴う看護や療養生活を支える看護
について学びます。



臨床生理学実習室

脳波計や超音波診断装置など
で生体の生理機能の変化を学
びます。

地域交流センター

地域活動への参加や外部講師によるセミナーによるスキルアップなど、学外との繋がりが持てる場を提供しています。



地域に開かれた大学を目指す活動拠点



地域交流センター長
豊田 ゆかり

地域交流センターは、県民すべての保健・医療・福祉の増進に寄与することを目的に活動し、本年度で16年目を迎えました。この目的実現に向け、

- ①人材育成機能 ②調査研究機能
 - ③相談支援機能 ④情報発信機能
- の4つの機能を持ち、本学の施設、設備と教職員、学生ボランティア等の人材を活用した事業を展開しています。

入試情報 / オープンキャンパス

8・10・12月にオープンキャンパスを開催します。夢に向かってチャレンジしましょう。

入学試験情報 平成31年度 入学試験実施状況

学部学科または専攻科の別	定員	募集人数 A		出願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	出願倍率 (B/A)	受験倍率 (C/A)	合格倍率 (C/D)	
保健科学部	看護学科	前期	42	114	91	42	40	2.7	2.2	2.2	
		後期	5	100	22	5	5	20.0	4.4	4.4	
		推薦	26	84	84	31	31	3.2	3.2	2.7	
		社会人	2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
		計	75	298	197	78	76	4.0	2.6	2.5	
保健科学部	臨床検査学科	前期	15	51	41	17	16	3.4	2.7	2.4	
		推薦	10	29	29	9	9	2.9	2.9	3.2	
		計	25	80	70	26	25	3.2	2.8	2.7	
保健科学部	学部合計	前期	57	165	132	59	56	2.9	2.3	2.2	
		後期	5	100	22	5	5	20.0	4.4	4.4	
		推薦	36	113	113	40	40	3.1	3.1	2.8	
		社会人	2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
		計	100	378	267	104	101	3.8	2.7	2.6	
保健科学部	助産学専攻科	本学	4	8	8	4	4	2.0	2.0	2.0	
		県内枠／一般	11	18	18	11	9	1.6	1.6	1.6	
		(内)県内枠	4	9	9	4	4	2.3	2.3	2.3	
		計	15	26	26	15	13	1.7	1.7	1.7	
保健科学部	大学院合計	看護学専攻	5	一般／社会人	5	2	2	2	0.4	0.4	1.0
		医療技術科学専攻	3	一般／社会人	3	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		計	8	計	8	2	2	2	0.3	0.3	1.0

令和2年度入試募集要項の請求

資料の請求方法
インターネット・電話による請求申込
テレメール(インターネットまたは24時間自動音声応答電話)をご利用ください。

インターネット <http://telemail.jp> (パソコン・携帯電話各社共通)

自動音声応答電話 IP電話 050-8601-0101

資料請求番号
一般入試募集要項 549300 (215円後納)
特別選抜募集要項 549310 (250円後納) (推薦、社会人、私費外国人)
助産学専攻科募集要項 546120 (250円後納) (推薦・一般)

※送料はお届けする資料に同封されている支払い方法に従い、表示料金をお支払いください。
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2~3日程度で資料が届きます。

スマートフォンケータイ用バーコードからも簡単に請求できます。

請求方法についてのお問い合わせ
テレメールカスタマーセンター(IP電話) 050-8601-0102

アクセス

松山市内から約30分。自然豊かで閑静な場所にあり、学びに集中できる環境があります。



アクセス情報

松山観光港	連絡バス+郊外電車 約40分
三津浜港	伊予バス約30分
松山空港	伊予バス約20分
JR松山駅	市内電車約10分
松山自動車道	松山自動車道松山ICで降り、国道33号線を高知、久万高原方面に右折。約3km南の砥部町拾町立休交差点で、県道23号伊予川内線を東温方向に左折。約1km直進し、愛媛県立医療技術大学の案内看板を右折すく。

松山市駅

伊予バス 森松・砥部線 砥部方面行 約30分

高尾田バス停

徒歩 約10分

愛媛県立医療技術大学

オープンキャンパス・大学見学について

本学では、例年オープンキャンパスを実施しています。在学生と教員による大学紹介、施設紹介、模擬実習など、大学を肌で感じることができます。

オープンキャンパス日程 第1回 8/9(金)・8/10(土) 第2回 10/19(土)・10/20(日) 第3回 12/7(土)

また、大学見学をご希望の方は、事前に(1週間前までに)大学事務局に確認してからお越しください。日程や時間の調整ができれば、実際の演習や授業風景をご覧いただくことも可能です。本学は土曜日、日曜日及び祝日はお休みです。平日であれば、夏休み・冬休み期間中でも見学などに対応しています。

